

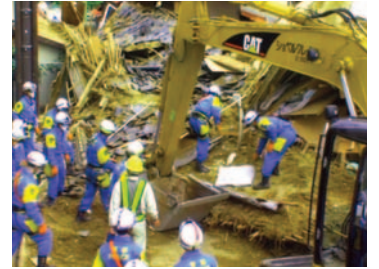
2 最大の備えは地震に強い家

～耐震診断・耐震改修のすすめ～



地震で亡くなった人の多くは「家」に原因が！

2007年7月に起きた新潟県中越沖地震では、亡くなった11人のうち9人が、建物が壊れたことで命を落としています。1995年の阪神・淡路大震災では、6400人を超える死者のうち、85%の人が建物が原因で亡くなっています。



地震に弱い家



建物は、地震に耐えられる強さ（耐震性）によって、建ててもよいかどうかが決まっています。これを耐震基準といいます。愛知県には、大きな地震に耐えることのできない家が56万戸（2007年現在）もあります。その多くは耐震基準が厳しくなった1981年5月（昭和56年）より前に建てられたものです。

地震に強い家

まずは、あなたが住んでいる家の耐震性を知ること。「耐震診断」では、専門の人が家に行き、建物の強さや形、いたみ具合を調べ、建物がどれだけ地震に耐えられるかを診断します。



そして、あなたの家が危険だとわかったら、今度は地震に弱いところを補強する工事を行います。これが「耐震改修」です。耐震改修で補強した家とそうでない家ではどう違うか、実験を見てみましょう。



～最大の備えは地震に強い家～

大切な家族の命を守る家。地震に強い家にすれば、命も助かる、不自由な避難所生活もしなくて済みます。



あなたが住んでいる家は大丈夫？
きちんと耐震診断をしましょう。

もし、地震に弱い家とわかったら、しっかりと耐震改修！
そのポイントはDVDを見てね。

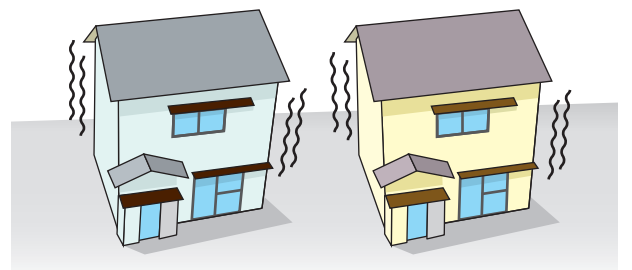


実験

耐震基準が厳しくなる1981年よりも前に建てられた2つの家に、巨大な実験設備を使って、震度7の揺れを与えます。
結果は、どうなるのでしょうか？

耐震補強をしていない家

耐震補強をした家



結果は一目瞭然！DVDで確認しましょう。

そうなる前の防災対策

そうなる前の防災対策

そうなる前の防災対策

そうなる前の防災対策